

研修概要

目次

1. 国立国会図書館の人文分野のレファレンス	2
2. 所蔵機関調査.....	3
事前課題① 回答例.....	3
事前課題② 回答例.....	4
事前課題③ 回答例.....	5
演習問題①	7
事前課題④ 回答例.....	8
3. 記事掲載箇所調査.....	10
事前課題⑤ 回答例.....	12
事前課題⑥ 回答例.....	13
演習問題②	13
4. 人物調査	14
事前課題⑦ 回答例.....	15
事前課題⑧ 回答例.....	17
5. 人文分野でよくあるその他の調査.....	20
5 - 1. 古文書に関する調査.....	20
事前課題⑨ 回答例.....	20
5 - 2. 出典に関する調査.....	21
事前課題⑩ 回答例.....	21
5 - 3. 活字の誤り	25
5 - 4. 照会事項に誤りがある可能性	25
演習問題③	26
5 - 5. 図版に関する調査.....	26
事前課題⑪ 回答例.....	26

・回答は、あくまで一例です。

・【 】内は国立国会図書館請求記号です。

◎を付した資料は、国立国会図書館デジタルコレクション（<https://dl.ndl.go.jp/>）の国立国会図書館／図書館送信参加館内公開資料、☆を付した資料はインターネット公開資料です。

- 以下の略称を用いる場合があります。

国立国会図書館 → NDL

国立国会図書館分類表 → NDLC

国立国会図書館デジタルコレクション → デジコレ

国立国会図書館雑誌記事索引 → 雑索

リサーチ・ナビ → リサナビ

レファレンス協同データベース → レファ協

データベース → DB

ホームページ → HP

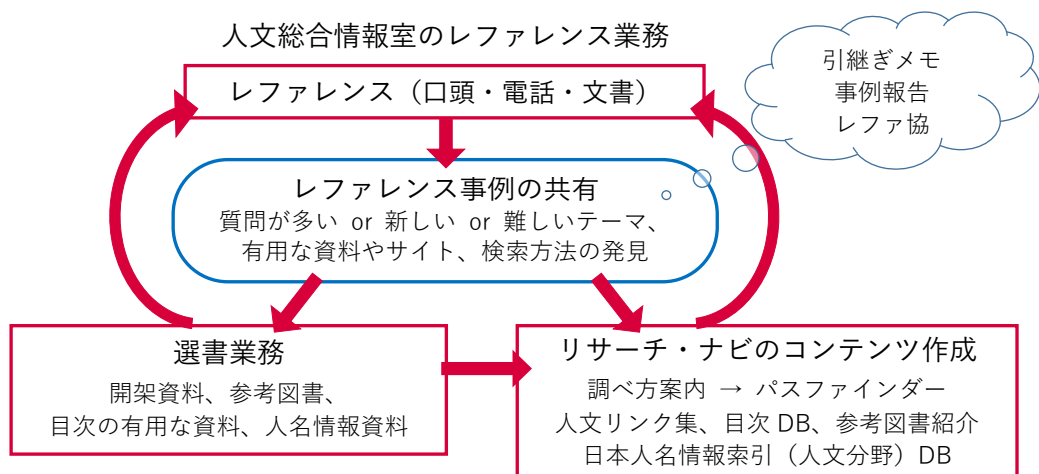
1. 国立国会図書館の人文分野のレファレンス

- 東京本館には 8 つの専門室があり、資料の形態に対応している専門室と主題に対応している専門室の 2 種にわけることができる。

国立国会図書館 HP > 東京本館 > 専門室・閲覧室案内

https://www.ndl.go.jp/jp/tokyo/reading_info/index.html

- レファレンスは、NDLC¹の分類で担当をわけ、その主題を担当する専門室で主に対応している。人文分野のレファレンスは、人文総合情報室で主に対応している。
- 人文総合情報室では人文科学（G：歴史・地理、H：哲学・宗教、K：芸術・言語・文学）と総記（U：学術一般・ジャーナリズム・図書館・書誌）を担当している（アルファベットの G、H、K、U は NDLC の記号）。



¹ https://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/classification_subject/ndlc.html

2. 所蔵機関調査

- ・自館資料を探索し、見つからなかった場合は、NDLサーチ（<https://iss.ndl.go.jp/>）やCiNii Books（<https://ci.nii.ac.jp/books/>）等、複数館の所蔵をまとめて検索できる総合目録で検索するのが基本。
- ・全ての所蔵機関を網羅できる総合目録がある訳ではないため、総合目録の検索だけでは見つからないものがある。
- ・書誌事項を丁寧に確認し、資料の種別に応じた総合目録や、所蔵している可能性が高い機関の状況を確認していく。
- ・人文リンク集の「蔵書目録」のページ（<https://rnavi.ndl.go.jp/humanities/entry/post-1.php>）は、特徴のあるコレクション所蔵機関を知る手掛かりになる。

NDLサーチ、CiNii Booksの検索対象の概要

		NDLサーチ	CiNii Books
図書	国立国会図書館	○ NDL オンライン	—
	大学図書館	○ CiNii Books	○
	都道府県立・政令指定都市立図書館	和図書は○ 国立国会図書館総合目録ネットワーク *1	—
	その他公共図書館	—	—
雑誌	国立国会図書館	○ NDL オンライン	—
	大学図書館	○ CiNii Books	○
	公共図書館	— *2	— *3
新聞	国立国会図書館	○	—
	大学・公共図書館	— *4	—

※ 表中の*1～4については、事前課題①～③の回答例の説明でふれます。

事前課題① 回答例

『中央公会堂三十五年の歩み』を閲覧したい。

○NDLサーチで検索するとヒット（*1に該当）

大阪府立図書館（中央・中之島）、大阪市立図書館で所蔵。

出版者＝大阪市民生局、件名＝大阪市中心公会堂

※ シリーズ名に「民生局報告」とあり。

逐次刊行物として整理されている可能性を考慮して「民生局報告」でも検索してみる。

- ☒ 国立国会図書館で所蔵していない資料でも、郷土資料については地元の公共図書館では所蔵している場合がある。
- ☒ NDLサーチという名称だが、国立国会図書館未所蔵の資料も検索できる。

事前課題② 回答例

砺波文化協会が出版した『砺波』の第3集を閲覧したい。
昭和26年に出版されたようだ。

NDLサーチ、CiNii Booksともヒットしない（*2、*3に該当）

NDLサーチで検索可能な都道府県立図書館・政令指定都市立図書館の所蔵情報は、「国立国会図書館総合目録ネットワーク」によるもので、主に和図書の書誌データが検索対象²。
洋図書や雑誌は対象外であるため。

「砺波」は富山県にある地名→郷土資料ではないかと推測

→富山県立図書館の

「図書・雑誌検索」（<http://lib2.lib.pref.toyama.jp/opac/WOpacTifSchCmpdDispAction.do>）
or「横断検索」（<http://lib2.lib.pref.toyama.jp/CrossLibrary/>）で検索

※ どちらもデフォルトでチェックが入っているのは図書のみのため注意する。

→カーリルローカル（<https://calil.jp/local/>）で富山県を選択して検索

→となみつけ！（<https://tonami.calil.jp/>）で検索

⇒富山県立図書館にあるとわかる

- ☒ 都道府県立図書館では地域の横断検索システムを構築していることも多い。
- ☒ 図書、雑誌等の資料の刊行形態に留意する。

² https://iss.ndl.go.jp/somoku?page_id=55

国立国会図書館における納本率・収蔵率（イメージ）

	明治・大正・昭和前期			終戦 1945	戦後（昭和後期）・平成・令和		
図書	中	→	高		中	→	高
雑誌	低	→	低		低	→	高
新聞	低	→	低		低	→	高

- ☒ 国立国会図書館が設置され、納本制度による資料の収集が始まるのは戦後のことで、それ以前（戦前期）の雑誌の収蔵率は高くない。
戦前期雑誌の所蔵機関調査についてのレファレンス依頼はよくあるが、当館の所蔵状況が一因とも考えられる。

◆NDL サーチの長所と短所

- ・NDL の蔵書全てと、連携する 100 を超える機関の DB を統合的に検索することが可能。
「すべての連携先を検索する」にチェックを入れ、幅広く検索することで探索し難い資料が見つかる場合がある。
(例)「すべての連携先を検索する」にチェックを入れ、「芥川龍之介全集 内容見本」で検索すると、国立歴史民俗博物館の所蔵資料がヒット。
同館には、「全集内容見本コレクション」として、350 点ほど所蔵があるよう。
- ・「本」に図書も雑誌も含まれ、雑誌のみを区別しての検索ができない。
NDL オンライン（<https://ndlonline.ndl.go.jp/>）、CiNii Books（<https://ci.nii.ac.jp/books/>）では雑誌のみを指定しての検索が可能。

事前課題③ 回答例

大正9（1920）年12月発行の『歌』18巻12号を閲覧したい。

NDL サーチ、CiNii Books ともヒットはするが、該当巻号なし

※ NDL オンライン『歌』【雑 11-3】書誌詳細 <https://id.ndl.go.jp/bib/000000001829>

「所蔵情報」で所蔵を確認できるが、9巻12号より後～22巻1号より前は欠号。
巻号、年月の情報の法則性が照会の18巻12号と矛盾しないことから、同じ雑誌と判断される。

※ タイトルが一致するだけで同じ雑誌と即断しない方がよい。 関連事例(38)

※ 出版事項は「東京：大日本歌道奨励会」で、郷土資料としてゆかりのある地域がある雑誌ではなさそう。

○『全国公共図書館逐次刊行物総合目録』【027-Ko548t3】◎で調べる

第5巻（北日本編）「3 雑誌,研究報告」の項の p.43 に次の記載がある。

歌 大日本歌道奨励会 岩手 14 10（大5）, 12-15 2, 4-5, 8-9, 16 3（大7） 酒田 16（大7）-18 12（大9）
--

⇒酒田市立図書館にあるとわかる（現在の OPAC でも確認する）。

⇒『全国公共図書館逐次刊行物総合目録』【027-Ko548t3】◎では岩手県立図書館に 18 巻 12 号の所蔵情報はないが、現在の同館 OPAC で確認すると所蔵していることがわかる。

☒ 『全国公共図書館逐次刊行物総合目録』【027-Ko548t3】◎は、1963～1968 年刊行で、刊行から 50 年以上経過している資料だが、現在でも有効な場合がある。 ただし、現時点での状況を再確認する方がよい。
--

※ 『全国公共図書館逐次刊行物総合目録』【027-Ko548t3】◎は、デジコレの全文検索対象資料³。デジコレで、

公開範囲：「図書館送信資料」にチェックを入れる

キーワード：「大日本歌道奨励会」と入力（「歌」だとノイズが多くなるため）

「全文検索」にチェックを入れる

請求記号：027-Ko548t3

として検索すると、図書館送信参加館では第5巻 p.43 をスムーズに参照することができる。

ただし、デジコレ全文検索は OCR によるため、厳密には 6 巻全ての資料本文を確認する必要がある。

³ 2021 年 1 月に、デジタル化資料（図書、雑誌等）の一部について全文検索が可能となっている。
デジコレヘルプ>1-1. キーワードで検索 <https://dl.ndl.go.jp/ja/help.html#idx1-1>

2022 年 1 月からは、次世代デジタルライブラリーで全文検索対象を拡大。
<https://lab.ndl.go.jp/news/2021/2022-01-31/>

- 人文リンク集（<https://rnavi.ndl.go.jp/humanities/jinbunlinks.php>）を使って調べる
「蔵書目録」の詳細画面（<https://rnavi.ndl.go.jp/humanities/entry/post-1.php>）で
「総合目録に未収録の資料（おもに戦前期和雑誌）」の項
（<https://rnavi.ndl.go.jp/humanities/entry/post-1.php#c>）
にある機関の蔵書を順に確認。
⇒酒田市立図書館の光丘文庫にあるとわかる。
昭和女子大学図書館にあるようにもみえる（所蔵巻号 16-20 と所蔵年次 1904-1943 の記載では所蔵しているようにみえるが、巻号一覧に 18 巻 12 号は見当たらない）。

- カーリルローカル（<https://calil.jp/local/>）で調べる
北海道から順番に、全都道府県について調べていく。
⇒岩手県立図書館、北九州市立図書館にあるとわかる。

◆新聞の所蔵機関調査

NDL サーチでは、全国新聞総合目録データベースを検索できるようになっていた（表の*4 と専門図書館等所蔵の新聞も対象）が、令和3（2021）年3月31日で廃止。
その時点で凍結したデータをリサーチ・ナビで閲覧可能。
調べ方案内「新聞の所蔵機関を調べるには」
https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-700037.php

参考事例①

1923年9月の『信濃毎日新聞』と『静岡民友新聞』をみたい。

日付から、関東大震災の時の新聞紙面を見たいのかもしれない、と推測された。
利用者に確認したところ、そうだ、とのこと。
⇒『関東大震災（シリーズその日の新聞）』【YQ5-368】を提供。

☒ 目的に応じて代替可能な複製等がないかにも留意する。

演習問題①

ワンダーランドから出版された『宝島』の1巻5号を閲覧したい。
1974年1月に刊行されたようだ。

事前課題④ 回答例

曲亭馬琴著『南総里見八犬伝』の自筆本（複製は除く）の所蔵先を探したい。

曲亭馬琴（1767-1848）の自筆本→古典籍

○日本古典籍総合目録データベース（<https://base1.nijl.ac.jp/~tkoten/>）で「南総里見八犬伝」を検索

⇒「著作詳細」（http://dbrec.nijl.ac.jp/KTG_W_49116）の「国書所在」の項に、【写】写本、【版】版本、【複】〔活〕活字復刻、〔複〕複製本等の種別ごとに所蔵機関の記載あり。
【写】の箇所の記載から、国立国会図書館、早稲田大学、天理図書館に自筆本があることがわかる。

※ ただし、「国書所在」に記載があるものが所蔵機関の全てではない。

○『南総里見八犬伝』第9輯巻1【WA19-15】☆

デジコレ（<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2931596/3>）の「解題/抄録」に「自筆稿本は当館のほか早稲田大学図書館、都立中央図書館、天理図書館等にも所蔵されている。」との記載あり。

◆日本古典籍総合目録データベース

・岩波書店刊『国書総目録』の継承・発展を目指して構築されたDBで、『古典籍総合目録』、国文学研究資料館所蔵資料の書誌・所在情報も収録。

※ 『南総里見八犬伝』の英語版の「著作詳細 (Work List)」をみると、「国書所在」は whereabouts information in "KOKUSHO SO MOKUROKU"となっており、冊子体の『国書総目録』の情報が表示されていることがわかる。

※ 『南総里見八犬伝』の「著作詳細」の下の一覧にも所蔵機関の情報があり、2022年1月現在、No.26の「南総里見八犬伝第四輯，都中央加賀」に「写」の記載がある。

→東京都立図書館ウェブサイトの「特色あるコレクションの紹介」

https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/collection/features/digital_showcase/006/07/index.html
のページに、加賀文庫の馬琴自筆本の説明がある。

○国文学論文目録データベース（<https://base1.nijl.ac.jp/~rombun/>）で「八犬伝 自筆」を検索
「故松浦貞俊氏蔵本曲亭馬琴自筆稿本 南総里見八犬伝第四輯巻一解題」

http://dbrec.nijl.ac.jp/RONBUN_00082722

がヒットし、故松浦貞俊氏所蔵の第四輯巻一も自筆本らしいとわかる。

※ レファレンスの際は、様々な方面から調査を行うが網羅するのは難しい。

←国立国会図書館 HP 「レファレンス・資料案内」

<https://www.ndl.go.jp/jp/use/reference/index.html>

「9. 合理的な検索手段のないものに係る調査」

参考事例②

天保の改革（1830～44年）の頃に出された町触をみたい。

→『国史大辞典』【GB8-60】で「町触」の項（第13巻 p.85）を参照

三都に関する町触集として刊行されているものは、江戸の『正宝事録』をはじめ、『大
阪市史』『京都町触集成』がある。ただし、江戸の場合は宝暦年間（一七五一一六四）
までで、以後の町触の集成は刊行されていない。

※ 現在では、『江戸町触集成』塙書房,1994-2012【AZ-145-E28 ほか】として、宝暦年間以
後、慶応4（1868）年まで刊行済（1996～2003年刊）。

◆『国史大辞典』

- ・『国史大辞典』は平成9（1997）年に完結で、刊行から20年以上経過し、記述が古くなっ
ている箇所もある。
- ・『国史大辞典』に代わるより新しい包括的な日本史の辞典は刊行されていないが、テーマ
別の辞典や時代別の辞典が刊行されているので、あわせて調べると新しいことがわかる
場合もある。

●テーマ別辞典の例

『日本民俗大辞典』（1999～2000）

『日本女性史大辞典』（2008）

『日本生活史辞典』（2016）

●時代別辞典の例

『日本古代史大辞典』（2006）

『明治時代史大辞典』（2011～2013）

『戦後史大事典』（2005）

☒ アップデートできる情報がないかに留意して調査を行う。  関連事例(8)～(14)

3. 記事掲載箇所調査

- ・探したい記事が発表された年代や、記事の種類等と検索可能範囲が合うツールを選択して検索するのが基本。
- ・完璧な記事索引がある訳ではないため、探すのが難しい場合もよくある。

主要な記事索引と採録年代・網羅性の対応（イメージ）

	明治 1868-	大正 1912-	昭和 1926-	昭和戦後 1945-	平成 1989-	令和 2019-
NDL雑誌記事索引				■	■	■
NDLデジタルコレクション	■	■	■	■	■	→
ざっさくプラス（皓星社）	■	■	■	■	■	■
Web OYA-bunko	-	-	-	■	■	■
大宅文庫 目録（冊子体）	-	-	-	■	■	
CiNii Articles	-	-	-	■	■	■
MagazinePlus （日外アソシエーツ）	■	■	■	■	■	■
20世紀メディア情報DB （インテリジェンス研究所）				■		
新聞DB（ヨミダス、聞蔵等）					■	■

◆国立国会図書館 雑誌記事索引（<https://www.ndl.go.jp/jp/data/sakuin/index.html>）の留意点

- ・雑誌の記事が対象。図書や新聞に掲載された記事は対象外。
- ・採録基準を満たしたものが対象。
当館所蔵雑誌の全てが採録対象になる訳ではない。
- ・採録期間の採録対象誌であっても、2 ページ以下の記事は原則として対象外。

（例）別冊太陽：日本のこころ (212);2013.11 #縄文の力

<https://id.ndl.go.jp/bib/024980511>

- ・基準を満たす雑誌でも、欠号は採録されない。
- ・戦後の雑誌記事が対象。

◆NDL オンラインで検索できる雑誌記事

- ・雑誌記事索引の採録対象となっている戦後の雑誌。
- ・デジタル化とあわせて目次が作成された雑誌（戦前も含む）。

(例)

『國華』 明治22(1889)年10月創刊
雑誌記事索引では、1950年10月の703号～

『史学雑誌』 明治22(1889)年12月創刊(当初は『史学会雑誌』)
雑誌記事索引では、1948年4月の57巻4号～

⇒どちらも主要な学術雑誌だが、デジタル化されていない戦前期の目次はNDLオンラインでは検索できない。

◆記事を確認するための方法いろいろ

○総目次や復刻版で調べる

(例)『國華』 ・冊子体『國華索引』【K1-H5】 創刊号～平成13年12月
・DVD版『國華』1～3【YH251-H73 ほか】 創刊号～平成19年7月
『太陽』 オンライン版(有料) 明治28年1月～昭和3年2月

○復刻版の索引で調べる

(例)『新青年 復刻版』【Z24-1128】
索引(「執筆者別作品リスト」)では、目次に記載されない海外小説の翻訳者の名前からも調べられるようになっている。 ☞関連事例(18)

○著作目録や年譜で調べる

調べ方案内「人物文献(伝記など)を探す」

https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-101121.php

(例) 大学教員 → 退官の際の記念論文集等
研究者 → リサーチマップ
全集や著作集のある著者 → 全集や著作集
研究対象となる著者 → 研究文献

○各分野のレファレンスブックで調べる

(例) 文学作品の初出 → 『文芸雑誌小説初出総覧』【KG1-H55 ほか】
調べ方案内「文学作品の初出を調べる」

https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-101094.php

(例) 図書館情報学分野の文献 → 『図書館情報学研究文献要覧』【UL1-J3 ほか】
☞関連事例(20)

○専門機関の情報で調べる

事前課題⑤ 回答例

藤島亥次郎「頸城諸郡建築調査報告」という文献を読みたい。

○論題から調べる

「頸城」は「新潟県の南西部にあった郡」（『日本国語大辞典』第4巻 p.674【KF3-G103】）

→新潟県立図書館のウェブサイト参照

「郷土人物／雑誌記事索引データベース」

https://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/?page_id=1139

の検索画面で、「全項目」の欄に論題を入力して検索すると、1955年4月の『越佐研究』9巻のpp.40-60に掲載されていることがわかる。

→カーリルローカル（<https://calil.jp/local/>）で新潟県を選んで論題で検索
村上市立図書館のデータから掲載誌が『越佐研究』とわかる。

○著者名（藤島亥次郎）から調べる

→Googleで著者名を検索すると東京文化財研究所のウェブサイトがヒット。

東京文化財研究所＞物故者記事＞藤島亥治郎

<https://www.tobunken.go.jp/materials/bukko/28257.html>

※「次」と「治」で表記ゆれがあるよう。

著作・制作目録、年譜についての情報あり。

うち、『建築史学』39（2002年）はJ-STAGEで閲覧可能。

「故 藤島亥治郎先生 著作・制作目録」 https://doi.org/10.24574/jsahj.39.0_60

照会の記事について「越佐研究 9 昭和三十年四月」との記載あり（p.63）。

◆NDL オンラインで検索できる『越佐研究』の記事

- ・『越佐研究』はNDL雑誌記事索引の採録対象誌だが、採録期間は1952年5月～1954年5月まで及び1998年以降となっている。

雑誌記事索引採録誌一覧＞え https://www.ndl.go.jp/jp/data/sakuin/kana_e.html

「越佐研究.（新潟：新潟県人文研究会，1952-）Z8-996（通号：1）1952.05～（通号：7）1954.05；（通号：55）1998～」と記載あり。

- ・雑誌記事索引の採録期間（1954年5月以降～1998年）より前のものでも、デジタル化された結果、記事検索ができるようになっているものもある。

ただし、1955年4月は欠号のため検索できないままになっている。

デジコレ 『越佐研究』 <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3480315>

事前課題⑥ 回答例

菅忠雄「鎌倉の時代を」という文章の初出を知りたい。
芥川龍之介に関する思い出が記載されているらしい。

芥川龍之介に関すること→文学関係と推測

○神奈川近代文学館の蔵書検索画面で調べる

所蔵資料検索（ <https://www.kanabun.or.jp/guide-opac/> ）の「図書・雑誌検索」で、「全ての項目」に「鎌倉の時代を」と入力して検索すると2件ヒット。
うち、1934～1935年刊行の『芥川龍之介全集』月報第1号が初出。

○『芥川龍之介事典 増訂版』【KG511-G34】で調べる

「菅忠雄」の項（pp.288-289）に、「回想文「鎌倉の時代を」（岩波書店版『芥川龍之介全集』月報第一号、昭和九・一〇）に詳しい」との記載あり。

演習問題②

「宝塚の少女歌劇見物禁止に就て」という文章を読みたい。
雑誌『歌劇』に掲載されたらしい。
何年のどの巻号に載っているのか。

4. 人物調査

- ・人物の略歴や生没年に関するレファレンスは多い。
- ・一般的な人名辞典ではわからない人物でも、各分野や地域に関する資料、同時代の資料等で情報を得られる場合がある。

※ 人名辞典というタイトルのものだけでなく、各分野・地域の人名録や年鑑等、人物情報が掲載されている様々な資料がある。

著名な人物 → 人名録、新聞の訃報記事 等

著作のある人物 → あとがき、まえがき 等

⇒調査対象人物の属性に応じて、情報が掲載されている可能性のある資料を参照して調べる。

◆人物調査に関する国立国会図書館作成ツール

- ・「人物文献（伝記など）を探す」（https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-101121.php）等の調べ案内
- ・日本人名情報索引（人文分野）データベース（<https://rnavi.ndl.go.jp/jinmei/>）
- ・国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス（Web NDL Authorities）
（<https://id.ndl.go.jp/auth/ndla>）
- ・人文リンク集＞人物・肖像（<https://rnavi.ndl.go.jp/humanities/entry/post-11.php>）

※ 他にも、近代日本人の肖像（<https://www.ndl.go.jp/portrait/>）、調べ案内「日本-官庁職員（公務員）の名簿」（<https://rnavi.ndl.go.jp/politics/entry/JGOV-meibo.php>）、近現代日本政治関係人物文献目録（<https://rnavi.ndl.go.jp/seiji/>）等あり。

参考事例③

『傍聴速記法独習教授要書』の著者・金刺源次の読み方、略歴、生没年等を知りたい。

レファ協事例：https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000308314

→NDL オンラインで『傍聴速記法独習教授要書』を検索し、ヒットした書誌詳細データ（<https://id.ndl.go.jp/bib/000000494558>）で、更に「詳細な書誌情報を表示」し、著者標目の「金刺, 源次, 1864-1935」の横にある （Web NDLA の当該著者標目へのリンク）をクリックすると典拠データが開く（<https://id.ndl.go.jp/auth/ndlna/00485850>）。

→典拠データの出典に記載がある資料を確認する。

『出版年鑑』昭和11年版【R025.1-Sy998-S ウ】☆

金刺源次掲載箇所：<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1150871/64>

※ 没年の出典として挙げられている資料だが、没年だけでなく肖像写真や略歴も掲載されている。

事前課題⑦ 回答例

若狭謙吉の生没年と略歴を知りたい。
札幌中島公園に大迫將軍の銅像を建立した人物らしい。

札幌に銅像を建立→北海道にゆかりのある人物と推測

○北海道立図書館のウェブサイトを参照

北海道の人物を調べる（人物文献検索）

<https://www3.library.pref.hokkaido.jp/digitallibrary/da/jnmisogosearch>

で人名に「若狭謙吉」を入力して検索すると、4件ヒットして生没年が判明（1850 or 1851-1912）し、典拠となった『北海道人名辞書』等の資料と掲載箇所についてもわかる。

→『北海道人名辞書』【R281.1-Ka53 ウ】☆

「若狭謙吉」の見出しがある箇所：<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/969146/116>

○日本人名情報索引（人文分野）データベースで検索

「若狭謙吉」で検索すると、

『新聞と人名録にみる明治の札幌』【GC7-283】◎の情報

<https://nnavi.ndl.go.jp/books/2009/04/000001746247.php>

がヒットし、若狭謙吉の情報があるとわかる。

※ 「日本人名情報索引（人文分野）データベース」のリンクを開くと、「その他注記」に「原本は人名録の『北海道人名辞書』（大正3年刊）、『札幌之人』（大正4年刊 347-20）、『札幌紳士録』（明治45年刊 特 20-313）を使用。”明治期札幌人名録”ともいうべきもの。」とあるのを確認できるので、『新聞と人名録にみる明治の札幌』【GC7-283】◎の所蔵がなくても、原本の『北海道人名辞書』を調べる、ということも考えられる。

◆日本の代表的な人名録

・『日本紳士録』（交詢社）

明治22（1889）年の第1版～平成19（2007）年の第80版まで刊行。

・『人事興信録』

明治36（1903）年～平成21（2009）年の第45版まで刊行。

『日本紳士録』より家族の情報等が豊富。

「日本研究のための歴史情報」として、名古屋大学で複数の版がデータベース化され、インターネットで利用可。

『人事興信録』データベース（<https://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/who/search>）

◆戦前期の人物の属性と関連資料の例

- ・著名な人物 → 『日本紳士録』、『人事興信録』、新聞記事 等
- ・地域にゆかりのある著名な人物 → 地域の人名録、新聞記事、地方史誌（〇〇郡誌等、当時の自治体編纂のものも有用） 等
- ・出身校、勤務校が判明している人物 → 各校の名簿
 - ※ 戦前期の名簿は「〇〇一覧」という名称のことが多い。
東京帝国大学一覧、早稲田大学一覧、第一高等学校一覧 等
 - ※ 東京大学附属図書館のウェブサイト「卒業生・元教員の在籍記録を調べたい」
https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/faqs/ref_02
- ・旧帝国大学の出身者 → 学士会（同窓会組織）の名簿

参考事例④

菊池寛の情報が掲載されている当時の資料（デジコレインターネット公開）の例

- ・『日本紳士録』32版【86-41】☆
 - ※ p.264 中段に「菊池寛」の情報あり。
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1145537/163>
- ・『人事興信録』第8版（昭和3年）【95-15 子】☆
 - ※ pp.キ 42-キ 43に「菊池寛」の情報あり。
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1078684/561>
 - ※ 人事興信録データベースでも情報をみられる。
<https://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/who/docs/who8-7362>
- ・『京都帝国大学一覧』自大正6年 至大正7年【281-5】☆
 - ※ p.406に大正5年7月の「英文学専攻」の卒業生として「菊池寛」の名前があり、香川出身であることもわかる。
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/940182/211>
 - ※ p.389に「文学士（成績順）」の記載がある。
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/940182/202>

・ 學士會『會員氏名録. 昭和7年用』【F4-H168】 ☆

※ p.158 上段に「菊池寛」の情報あり。 <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1900418/91>

「勤務先又ハ職名」の項には「時事新報社記者」とあり。

※ 「凡例」に「氏名の配列は五十音順に據る」との記載あり。

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1900418/4>

読み方についての問合せもよくある。

配列（五十音順など）は、読みを推測できる情報になる場合があるので、リスト状の記載の場合、凡例とあわせて留意している。

事前課題⑧ 回答例

伊藤若冲『玄圃瑤華（げんぽようか）』の跋文を書いている「菅原世長」という人物について知りたい。

東京国立博物館 画像検索 玄圃瑤華

（ <https://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/E0066807> ）の、本紙27に名前がみえる。

跋文を著している人物→他にも著作のある人物と推測

○『国書人名辞典』【GB12-E55】の第5巻（索引）で「セ」の箇所を参照

「世」で始まる名前が並んでいる中に、

「世長 → 高辻（菅原-）胤長 ③148 b」の記載あり（p.344）

第3巻の「高辻胤長」の項に「本姓、菅原」、「名、初め世長、後胤長」、略歴や著作等についての記載がある。

※ 『国書人名辞典』は『国書総目録 著者別索引』を継承し、発展させたもの。

※ 本姓について本文に記載はあるが、見出しになっていない場合の本姓では索引でも基本的にはひけない。

⇒「高辻胤長」で改めて調べると、『公卿人名大事典』【GB12-E61】等、より詳しい記述がある辞典も見つかる。

☒ 現在と比べ、明治より前では名前について様々なかたちがある。

○伊藤若冲、玄圃瑤華から調べる

・ 後藤 健一郎「伊藤若冲制作の「拓版画」作品について--《素絢帖》、《玄圃瑤華》を中心に」（『美学論究』19 2004.3 pp.21-38 【Z11-37】）

←菅原世長について、高辻胤長と同一人との記載はないが、生没年、菅原家長の男子で
安永5（1776）年に胤長と改名、等の説明あり。

・『伊藤若冲作品集』【KC16-L1678】、『若冲：生誕300年記念』【KC16-L1903】

←「菅原世長（高辻胤長）」等の記載あり。

◆様々な名前のかたち

・江戸時代後期の作家・池田東籬

池田	① 家の名前 称号・苗字（苗氏・名字） ※ 通用した誤称：氏・姓・本姓・姓氏
左馬大允	② 事実上の個人名 官名・通称・俗称・仮名・名 ※ 通用した誤称：字（あざな） ※ 朝廷の常識では、官名と通称を異なるものと解釈
源	③ 古代擬制上の一族名 氏・姓（セイ）・本姓
朝臣	④ ③に附属する爵位的要素 姓（カバネ）・尸
正韶	⑤ 古代擬制上の個人名 名・名字・名乗・実名・諱
号・東籬亭 字・鳳卿	⑥ その他の私称 号・字、その他（肩書・屋号など）

尾脇秀和 著『氏名の誕生』【GB43-M36】

図表 4-1 「江戸時代における人名の実態と各部分の名称」より

・人名表記が「官位 + ③ 本姓 + ④ 尸 + ⑤ 名」とされた時の名前

『官員録：官板』明治3年【14.1-3】☆

「太政官」の項（<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1080835/11>）の9丁オでは、7人のうち5人の本姓が藤原。

・人名辞典の見出しにある名前（尾脇秀和 著『氏名の誕生』【GB43-M36】より）

本姓＋実名： 藤原道長 源頼朝

苗字＋実名： 織田信長 松平定信 水野忠邦 井伊直弼 伊能忠敬（通称：勘解由）

苗字＋通称： 大塩平八郎 江川太郎左衛門 間宮林蔵（実名：倫宗）

・資料にみえる池田東籬の名前の表記

『京都順覧記』【特 70-69】☆

東籬亭主人 2 コマ目左： <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/765576/2>

池田東籬亭 4 コマ目左： <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/765576/4>

左馬大允正韶 5 コマ目右： <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/765576/5>

※ 同一資料内でも様々なかたちがある。

『地下家伝』第7【738-121】☆

p.335 上段：<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1207798/171>

※ 「姓源氏 称号改池田 源正韶」等の記載あり。

『平安人物志』天保9年版

源正韶（「書」の項）

新日本古典籍総合DB⁴のURL：<https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100339843/viewer/14>

池田東籬（「文雅」の項）

新日本古典籍総合DBのURL：<https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100339843/viewer/47>

・修姓（姓を中国風の一字に短縮したもの）

『徂徠集』第1巻之1【145-101イ】☆

「物茂卿著」の記載あり（<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1184195/10>）

※ 物茂卿＝荻生徂徠。本姓の物部の修姓＋字（あざな）で「物茂卿」。

徂徠は、本姓：物部、号：徂徠、字：茂卿、幼名：双松、通称：惣右衛門。

・唐名（日本の官職を中国の官称にあてていったもの）

『淡窓全集』中巻【121.7-H566t-H】☆

「春日奉懷東都羽倉明府」の漢詩

328 コマ目右下：<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1913222/328>

※ 羽倉明府＝羽倉簡堂。羽倉簡堂は日田代官を務めた人物。

代官を唐名で明府としている。

☒ 現在の事典類に見出しとして記載される名前と、当時の史料等に記載される名前が一致するとは限らない。
--

⁴ 新日本古典籍総合DB（<https://kotenseki.nijl.ac.jp/>）は、国文学研究資料館が構築している複数の機関が所蔵する古典籍の情報や、その高精細画像を一度に検索できるポータルサイト。

5. 人文分野でよくあるその他の調査

5 - 1. 古文書に関する調査

事前課題⑨ 回答例

天正10年9月に中川清秀が瀧安寺に関して出した禁制の本文を確認したい。

○「大日本史料総合データベース」で検索

東京大学史料編纂所 HP のデータベース選択 (<https://wwwap.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/>) で「大日本史料総合データベース」を選択。

キーワードに「中川清秀」、対象はひとまず「全選択」、和暦を「天正10年9月」で検索。

⇒網文「中川清秀、禁制を撰津瀧安寺に掲ぐ、」がヒット。

「刊」をクリックすると本文画像の閲覧が可能。

『大日本史料』での掲載箇所（編：11、冊：2、頁：639）もわかる。

※ 『大日本史料 第11編之2』【GB22-7】☆

禁制掲載箇所の URL：<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3450625/355>

○NDL オンラインでキーワード「中川清秀 禁制」で検索

・『新修茨木市史 第2巻 (通史 2)』【GC165-L101】写真4 中川清秀禁制（瀧安寺文書）

→NDL オンラインをキーワード＝「瀧安寺文書」で再検索。

『箕面市史 史料編2』【216.3-M516m】◎p.415 にもあり

・『戦国大名の古文書 西日本編』【GB271-L13】p.94

◆『大日本史料』

東京大学史料編纂所 HP > 編纂・研究・公開 > 大日本史料・史料総覧

https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/publication/dainihonshiryo_shiryosoran/

・仁和3(887)年から慶応3(1867)年までの歴史上重要事件に関する史料を編年で列举した史料集。

・『大日本史料』は、東京大学史料編纂所で現在も刊行継続中。

完結までに相当の時間を要すると考えられることから、概要を示す『史料総覧』が作成されている。

※ 『大日本史料』が刊行されていない年代の史料でも、地方史誌の史料編に収録され、確認できる場合がある。 ☞ 関連事例(28)

※ 地方史誌は重点的にデジタル化していて、図書館向けデジタル化資料送信サービスの対象となっている資料も多い。

※ 古文書のタイトルは図書とは異なる。

(例) 武家文書. 畠山国清披露状 暦応二年十二月二十七日【WA25-37】☆

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1287901/1>

5 - 2. 出典に関する調査

事前課題⑩ 回答例

「竹石無心吾所畏煙霞有疾不須醫」という書をみた。
作者や、題名、日本語訳を知りたい。

○調べ方案内「漢詩の出典」

https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-asia-16.php

に記載のツールで調べる

→「漢籍リポジトリ」(<https://www.kanripo.org/>)で「竹石無心吾所畏」をテキスト検索。
「鹿皮子集一元一陳樵」等がヒット。

→『大漢和辞典』で漢詩中の語句「竹石」を調べる。
巻8の「竹」の項の語彙として「竹石」と以下の記載あり (p.736)。

〔陳樵、霜巖石室詩〕竹石無心吾所畏、烟霞如山不敢安。

⇒作者＝陳樵 題名＝霜巖石室詩

○調べ方案内「漢詩の口語訳、書き下し文」

https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-asia-15.php

2. 日本語訳が掲載されている資料 > 2-1 詩中の語句などで検索するもの
に記載の資料で調べる

→市河米庵 輯『新註墨場必携 上巻 新版』【KC631-J17】

巻末索引で「ち」の箇所にある「竹石」を参照。

「竹石― 七二一」とあり、p.721に読下しと口語訳あり。

※ 【KC631-J17】は、大文館から昭和5年刊行の『新註墨場必携』を改訂した資料。

「新たに音読索引（句の冒頭二字による）を加え」（p.7）との記載あり。

市河米庵（1779-1858）編纂の『墨場必携』に註を加えたもの。

◆市河米庵著『墨場必携』

- ・「書家の便に供するために、古人の成句・詩歌などを集めて字数ごとに配列した書。市河米庵著。天保七年（一八三六）佐藤一斎の序がある。明治一三年（一八八〇）刊。」

（『日本国語大辞典』第12巻 p.53【KF3-G103】）

- ・版を重ねている資料。

NDL オンラインで、タイトル＝墨場必携、著者＝市河で検索すると、デジコレインターネット公開の資料で註釈付きのものあり。

『墨場必携：新註 25 版』洛東書院, 昭和13【特 222-490】☆

⑩の詩句掲載箇所：<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1033232/380>

- ・1838 年版の『墨場必携』は、慶應義塾大学 グーグル図書館プロジェクトの対象資料。本文の閲覧に加えて全文の検索が可能。

https://kosmos-app.lib.keio.ac.jp/discovery/glp/glp_menu.php?d=990019702640204034

※ テキストは OCR により作成。

⑩の詩句は、「竹石」ではヒットしない（「石」が「后」とスキャンされているため）。

六巻（82@70@6 10811468100 と表示あり）の [Google Books] のリンクを開き、「無心吾所畏」で「内部を検索」とするとヒットする。

※ 昭和13（1938）年刊行の新註版『墨場必携』【特 222-490】☆とは構成が異なる。

1838 年版は、三巻が春・夏、四巻が秋・冬、五巻が鑑戒類、六巻が間適類であるのに対し、【特 222-490】☆は文字数順に配列が変更されている。

【特 222-490】☆目次：<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1033232/12>

⑩の詩句は六巻でヒットすることから、【特 222-490】☆の14字の箇所全てではなく、「間適類十四字」のみを確認すれば良い、といったかたちで参照すべき箇所を限定できる。

- ☒ どのような場面でみられた詩句かも手掛かりになる。
書道展でみた書なら書道関係、茶席でみた書なら『茶掛の禅語辞典』【HM2-L25】等の茶道関係といったかたちで、受容される場面に応じたジャンルの資料を参照すると見つけやすい場合がある。
- ☒ 書に書かれる詩句が、揮毫した人物による作とは限らない。  関連事例(30)

参考事例⑤

アンリ・ド・レニエ Henri de Régnier (1864-1936) の名言
恋における貞節とは欲情の怠惰にすぎない
の出典を確認したい。

○『世界名言大辞典』【US57-G57】等では見当たらない

○Régnier と、amour (愛)、paresse (怠惰) 等、含まれそうな仏単語で Google 検索すると原文と思しきフレーズがヒットする

La fidélité en amour n'est que la paresse du désir.

→Gallica⁵ (<https://gallica.bnf.fr/>) の

Recherche avancée (<https://gallica.bnf.fr/services/engine/search/advancedSearch/>) で、

Texte に、"La fidélité en amour n'est que la paresse du désir"

Auteur/Contributeur に、Henri de Régnier

と入力して検索 (Lancer la recherche のボタンをクリック)。

⇒ヒットする Lui, ou Les femmes et l'amour の p.15 に該当フレーズあり。

掲載ページの URL : <https://gallica.bnf.fr/ark:/12148/bpt6k411313q/f14.image>

※ 検索結果のフレーズのリンクを開くと p.11 が開くので前後を確認すると見つかる。

左側のメニューにある VERSION TEXTE (OCR) でテキストデータを確認できる。

p.11 から参照できるテキストデータに当該フレーズがあり、画像とテキストデータの対応がズレているために、p.15 の画像ではなく p.11 の画像が開くとみられる。

○Gallica で確認できたフレーズ掲載箇所の上部には DEMI-VÉRITÉS の記載あり

『世界名言大辞典』【US57-G57】掲載のレニエの句の一部に、出典として挙げられていた「半面の真理」が DEMI-VÉRITÉS ではないかと考えられる。

→NDL オンラインで、レニエ、半面の真理をキーワードに検索。

ヒットする『花売り娘：仏蘭西短篇集』【787-74】◎p.260 に「戀愛に於ける忠實さは、慾望の懶惰のみ」とあり。

- ☒ 全文検索が可能なデータベースを活用する。
- ☒ 日本語訳のフレーズでは翻訳の際の揺れが生じる場合もあるため、原文で確認する方がスムーズな場合がある。
- ☒ フレーズだけをみて調べるのではなく、どのような資料のどこに掲載されているかを確認してから調べる方が良い。 🔗 関連事例(45)

⁵ フランス国立図書館 (Bibliothèque nationale de France : BnF) の電子図書館。

参考事例⑥

「縁なき衆生は度し難し」の出典について、『華嚴五教章不審』、『華嚴五教章見聞鈔』とある。原文を確認したい。

○大正新脩大藏經テキストデータベース（SAT）の2015版（<https://21dzk.l.u-tokyo.ac.jp/SAT/satdb2015.php>）で、「無縁衆生難度」を検索

※ 大正新脩大藏經テキストデータベース（SAT）では、『大正新修大藏經』の全文検索が可能⁶。

※ 検索結果に表示される経典名にマウスカーソルをおくと、掲載箇所の部、巻が表示される。また、経典名横の数字は掲載箇所のページ。

『華嚴五教章不審』 續諸宗部 Vol.73 p.225

『華嚴五教章見聞鈔』 續諸宗部 Vol.73 p.148

[show] をクリックするとテキストデータが開き、データ中の image をクリックすると冊子体の画像が閲覧できる。

○NDL オンラインで『大正新修大藏經』續諸宗部 Vol.73 を確認

『大正新脩大藏經. 第七十三巻』【183-D18-T】◎の p.148、p.225 に記載がある。

☒ データベースで検索可能なキーワードで検索する。
SAT に収録されているのは漢文の経典。
このため、日本語の読下しではなく白文で検索する必要がある。

参考事例⑦

1997 年出版の Археология и этнология Восточной Европы の所蔵機関を知りたい。

レファ協事例：https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000304005

→原綴りを LC 翻字に変換（変換方法等、詳細はレファ協事例を参照）。

→翻字したかたちで WorldCat を検索すると、複数の所蔵機関が見つかる。

原綴りで検索しても当該資料はヒットしない。

⁶ 漢文仏典が検索可能な DB には CBETA 中華電子仏典協会（<http://cbeta.org>）もある。『デジタル時代の中国学リファレンスマニュアル』【GE8-M4】に「仏典を検索する」（pp.a.185-a.193）の項があり、検索方法についても説明されている。

5 - 3. 活字の誤り

参考事例⑧

『漱石全集』別巻（岩波書店 1996 年）の p.278 の 3 行目にある「矜収」という単語の読み方と意味について知りたい。
高浜虚子が漱石について書いた「平凡化された漱石」の一節。

レファ協事例：https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000279981

- ・全文検索が可能な DB で「矜収」を検索してもヒットしない。
- ・虚子の「平凡化された漱石」の直筆原稿の該当箇所をみると、「矜収」ではなく「拾収」のくずしがきのようにみえる。
- ・虚子存命中に出版された全集では、「矜収」ではなく「收拾」。

☒ 活字であっても正しいとは限らない。 🔍 関連事例(34)～(37)

5 - 4. 照会事項に誤りがある可能性

参考事例⑨

西武の堤清二が三越の板倉芳明を引き抜いたという、デパート業界の出来事をモデルにした清水一行の小説をさがしてほしい。

レファ協事例：https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000237862

○清水一行の著作では該当のものは見当たらない

○経済小説に関する資料を確認

『この経済小説がおもしろい!』【KG381-J113】収録のリスト「業種別にわかるオススメ経済小説 400 冊」に「西武の堤清二による三越の板倉芳明ヘッドハンティングが題材」と内容紹介のある大下英治の小説があることがわかる。

⇒著者は清水一行ではなく、大下英治だった可能性がある。

☒ 照会事項の記載が全て正確とは限らない。 🔍 関連事例(38)～(42)

誤りがある可能性を考慮に入れて、複数の観点から調査できないか検討する。

演習問題③

「忽ち三百杯を傾けて 直ちに上る金龍台 千里の目を窮めずんば 何ぞ消せん万古の哀しみ」という詩の作者と全文を知りたい。

「金竜台」という題名の漢詩のようだ。

※ インターネットで作者、全文とも確認可能です。

5 - 5. 図版に関する調査

事前課題⑪ 回答例

オスカー・ココシュカ Oskar Kokoschka が1943年に描いた「われわれは何のために戦っているのか」という絵画の図版をみたい。できればカラー図版が良い。

○調べ方案内「美術作品（西洋）の図版を探す」

https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-101100.php

に記載の冊子体索引とカタログ・レゾネ（一作者の全作品の基本データを図版とともに収録した作品総目録）で調べる

→『西洋美術全集絵画索引』【YU1-5594】

オスカー・ココシュカの項の以下の記載から掲載箇所がわかる。

われわれは何のために戦っているのか（1943）単
「大系世界の美術 20」学習研究社 1974／本文図 164

⇒「単」とあることから、カラーではなくモノクロ図版

→(1) International Foundation for Art Research の Catalogues Raisonnés (https://ifar.org/cat_raais.php)

で、Search by Artist に、Oskar Kokoschka と入力して検索。

(2) 検索結果画面の Kokoschka, Oskar のリンクをクリックして開いたページの Published Catalogues にある、Fondation Oskar Kokoschka の Oskar Kokoschka. The Paintings Online. (<https://www.oskar-kokoschka.ch/fr/1019/Introduction>) を開く。

(3) Oskar Kokoschka. The Paintings Online. の

CATALOGUE RAISONNE (<https://www.oskar-kokoschka.ch/fr/1020/Catalogue-en-ligne>) のページ(英語版)の検索窓(黒い帯状の中に「Search (title, provenance, exhibitaion, city...)」とあり)に 1943 と入れ、*1943*を選んで検索。

(4) その中に、What we are fighting for, 1943/3 Kunsthaus Zürich とあり、クリックするとカラー図版がみられる。

○英語 or ドイツ語の作品名でインターネット検索する

(1) 英語版 Wikipedia の

Oskar Kokoschka のページ (https://en.wikipedia.org/wiki/Oskar_Kokoschka)

に、What We Are Fighting For (1943) とあり。

(2) "What We Are Fighting For"と Kokoschka で Google 検索すると、Oskar Kokoschka. The Paintings Online. もヒットする。

(3) 所蔵館の Kunsthau Zürich のウェブサイト (<https://www.kunsthau.ch/en/>) の Online Collection のページ (<https://collection.kunsthau.ch/en/>) で、What We Are Fighting For を検索すると作品ページ (<https://collection.kunsthau.ch/en/collection/item/823/>) でカラー図版がみられるほか、Also known as としてドイツ語タイトル (Wofür wir kämpfen) も確認できる。

○NDL オンラインでキーワードに Oskar Kokoschka を入力して検索

ヒットした資料のうち、Oskar Kokoschka 【KC321-B8】 p.172 にカラー図版あり。

Oskar Kokoschka (<https://id.ndl.go.jp/ejournal/2670000000334401>) は、【KC321-B8】と同じ (どちらも ISBN が 3-205-77030-7) で、インターネットで全文の閲覧が可能。

◆オンラインのカタログ・レゾネ

IFAR の Catalogues Raisonnés (https://ifar.org/cat_rais.php) で、Published Catalogues、Catalogues in Preparation、Online Only Catalogues にチェックを入れて検索。

Published Catalogues に、セザンヌ (Paul Cézanne)、ゴーギャン (Paul Gauguin)、Catalogues in Preparation に、マネ (Edouard Manet)、モネ (Claude Monet)、ロダン (Auguste Rodin) 等があるのを確認できる。 関連事例(50)

◆画像を検索できるウェブサイト

参考事例⑩

『絵本江戸紫』に描かれた、三段重ねのように見える円筒形の道具の名前、用途を知りたい。

レファ協事例 : https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000310008

→新日本古典籍総合データベース (<http://kotenseki.nijl.ac.jp/>) の「画像タグから探す」で「食籠」を検索すると、類似の画像と掲載されている資料を確認できる。

※ 画像を言葉で検索できるウェブサイトには、新日本古典籍総合 DB のほかにも様々な DB がある。

- ・『大正新修大蔵経』画像データベース
(<https://dzkings.l.u-tokyo.ac.jp/SATi/images.php>)
- ・近世職人画像データベース
(https://www.rekihaku.ac.jp/up-cgi/login.pl?p=param/kins/db_param)

等

※ 画像を画像で検索できる様々なサイトもある。

- ・次世代デジタルライブラリー (<https://lab.ndl.go.jp/dl/>)
- ・浮世絵検索 (<https://ja.ukiyo-e.org/>)
- ・Google 画像検索 (https://www.google.com/imghp?hl=ja_JP)

等